

オススメします!!

糖尿病教育入院

糖尿病教育入院とは…

2週間という入院期間の中で、検査・治療・学習・体験を通じて、糖尿病に対する正しい知識と上手な付き合い方を学ぶ治療プログラムです。

1単位4名が男女別(2週間ごとに男女入れ替え)でご入院いただけます。2週間の入院期間のあいだ、4名定員の病室で一緒にお過ごしいただきます。程度は違えど同じ病気による悩みを分かち合い励まし合うなど連帯感を通じて、退院後も

生活習慣の改善や病気と向き合う気持ちを育む効果があります。

病院の特性を活かし、医師・看護師だけでなく薬剤師・栄養士・運動トレーナー・ソーシャルワーカー・歯科衛生士・調理師といった多職種による講義や指導など普段の生活ではなかなか実践できない体験ができると好評です。

耳原総合病院 糖尿病教育入院プログラム

※一部変更になることもあります。

	血糖測定	検査	レクチャー (医師)	薬 (薬剤師)	実習	栄養指導 (栄養士)	生活指導 (看護師)	その他
1日 日	4回	眼科受診(必経) 頸動脈エコー	①糖尿病とは ②低血糖について ③糖の流れについて	服薬指導	運動指導 (運動トレーナー) 調理実習 (調理師)	栄養指導 (栄養士) 献立説明 (調理師) カロリー計算の仕方	オリエンテーション (アンケート記入) 活動量測定 フットケア	医療制度について (ソーシャルワーカー)
2日 月	7回	心エコー						
3日 火	4回	血液検査 蓄尿検査 骨密度 レントゲン 心電図						
4日 水	4回	外泊	外泊	外泊	外泊	外泊	外泊時の注意	外泊
5日 木	4回	尿検査 蓄尿検査	④シックデイの対応 ⑤合併症(1) ⑥合併症(2) ⑦インスリン分泌とインスリン抵抗性	服薬指導	運動指導 (運動トレーナー)	栄養指導 (栄養士)	日常生活指導 退院にむけて	歯磨き指導 (歯科衛生士)
6日 金	4回							
7日 土	外泊							
8日 日	4回							
9日 月	7回							
10日 火	4回							
11日 水	4回							
12日 木	4回							
13日 金	4回							
14日 土	4回							



運動指導



調理実習

3大メリット

メリット①
糖尿病合併症(眼・神経障害・腎臓)の予防ができる!!

メリット②
脳卒中や心筋梗塞など他の生活習慣病の予防に役立つ!!

メリット③
同じ病気を持つ同性の仲間どうして2週間過ごす連帯感・病気と向き合う気力を養える!!

■日曜日スタート、翌週土曜日の退院となります。中間点の土・日曜日は外泊いただき、前半で学んでいただいた生活習慣の実践を行います。もちろん、後半の入院プログラムにて外泊中の評価も行わせていただきます。

病棟 看護師長より一言…

これまで多くの方の糖尿病教育入院に携わってきて感じるのは、“患者さまがもっと早く糖尿病教育入院に出会えていたら…”という想いです。糖尿病と診断された方を中心に、できるだけ早期での入院をオススメします。

また、1単位4名という限定人数の為、お待ちいただく場合もありますが、月末(第5週目)スタートの糖尿病教育入院は比較的すいていますので、こちらもオススメです。

体験者の声

70代 女性 妹が糖尿病、私が糖尿病予備軍となり、医師のすすめもあり、姉妹で同時入院しました。各自が普段使っているお茶碗を持ち込んで、ご飯100gを量り、分量を把握しながら、毎食自分でご飯をよさうです。今までエエ加減な目分量やったのが、ホントわかりました。食事の仕方も勉強になりました。一人暮らしなので自分では気づいてなかったのですが、かなりの早食いの方でした。野菜からゆっくりと食事を摂る、炭水化物を抑える、リンゴなんかも1個でなく半分にする…など。退院後も入院中に学んだことを意識して体重コントロールを心掛けていますよ。糖尿病とじっくり向き合える2週間。難しいとは思いますが主婦の方などにもオススメです。

60代 女性 少人数で行われますので、薬剤師さんや栄養士さんなどの話もじっくりお聞きできますし、質問も納得できるまで対応いただきました。同じ病気で悩みを抱える患者同士の交流も貴重な機会だと思います。糖尿病で苦しんでいる多くの方にもっと体験していただきたいです。

担当医師から一言…

『ずっと外来に通っているのに、全然血糖がさがらへんなあ』と感じておられる方、おられますか？

『初めて糖尿病って言われたけど、この先どうなるか不安やわあ』
『運動と食事ががんばってるつもりやけど、このままでいいかなあ』
『独りで頑張っているとしんどいなあ』

みなさん、糖尿病教育入院に参加してみてください。教育入院は普通の入院とはちがいます。期間は2週間の入院です。治療・検査だけでなく、食事について勉強したり・実際に運動してみたり、講義を受けてみたり、幅広く糖尿病を見つめる入院です。みなさんと病院スタッフが、“一緒に”糖尿病とどうやってつきあっていったらいいかを一緒に探すチャンスです。試しに参加してみてください。新しい発見があると思います。

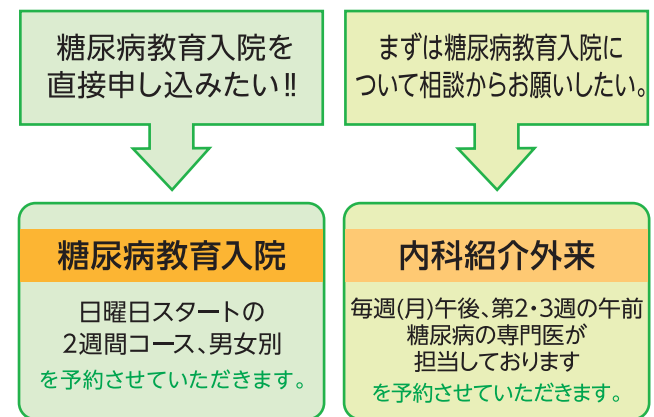
気になる費用は…

検査・プログラムのほとんどが医療保険適用となります。3割負担の患者さまで15~16万円程度。所得により異なりますが、事前に『高額療養費 限度額適用認定証』の申請をされることで多くの方が支払い減額されます。

例：所得区分ウ(標準報酬月額28~50万円の方)に該当される方で、15~16万のお支払いが、11~12万程度に減額されます。
※月をまたぐ入院(月末~翌月初めの入院期間)では自己負担額が増える場合もあります。

生活保護や各種助成を受けられている方もご入院いただけます。

かかりつけ医からの申し込み方法



いずれもお申し込み、お問い合わせは…
耳原総合病院 サポートセンター 地域連携室まで。

直通TEL:072-241-0324
直通FAX:072-241-0208

開業医紹介 Introduction

父の背中を見て育ち 初心を忘れず診療しています

Interview

齋藤医院
さいとう しんじ
齋藤 振二 院長



■医師を目指したきっかけは？
京都の大学病院に勤めていた父は、戦後間もなく食糧難のため、やむなく郷里の島根県に帰り、そこで私は生まれました。父はこの鄙びた無医村で小さな医院を開きました。患者さんは多くはありませんでしたが、医院1軒という事情もあり、365日休みの無い日々。深夜電話で起こされて数キロ離れた所へ往診することもたびたびでした。大学病院での研究者としての生活とは一変、僻地での地域の方々の為にひたむきに働く父。その背中を見ながら私は育ちました。私が医師を目指そうとした“きっかけ”は特に思い当たりませんが、父の生きる姿に大きな影響を受けたことは間違いありません。

■診療の際に心がけていることは？
医師になって第1日目、大学の教授より今後の医師としての心構えをお話いただき、その中に『患者ではなく、“患者さん”ですよ』という言葉がありました。医師になって40年。今もこの言葉を忘れずに診療にあたっています。

■地域医療について
周辺には独居者、高齢者が多く、また身体の不自由な方もおられるため、積極的に往診・訪問診療を行っています。

■耳原総合病院への希望・要望
2015年7月、市立堺病院の西区移転に伴い、堺区の基幹病院としての役割がさらに増してくると思います。これまで幾度となく救急の患者さんを引き受けていただき、心強く、感謝しております。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

■最後に一言お願い致します
私を支えて下さっている診療所のスタッフに大変感謝しています。

血液型 AB型
星座 おうし座
趣味 ゴルフ・読書
座右の銘 『人間万事塞翁が馬』
略歴

昭和47年大阪医科大学 卒業
昭和47年6月~昭和57年3月
大阪医科大学第2内科
昭和57年4月~昭和58年3月
監野病院 内科
昭和58年4月~齋藤医院



◎耳原スタッフへのご挨拶◎
穏やかな印象が強い齋藤振二院長。休診日の病状照会にも関わらず、即日ご対応いただいたことも…。丁寧・責任感など私たちが見習う点が多くあります。これからも、よろしく願います。



齋藤医院

〒590-0960 大阪府堺市堺区少林寺町西2-2-20
TEL.072-232-1169

スタッフ 医師1名 看護師3名 事務7名

診療科目	外来診療時間	月	火	水	木	金	土
内科	9:00 ~ 12:30	○	○	○	×	○	○
小児科	17:00 ~ 19:30	○	○	○	×	○	×
消化器内科							

休診:土曜日午後/木曜日/日曜日/祝日

